

## 第7回真田地域協議会 会議録

日 時 平成19年11月20日(火) 午後7時から午後9時00分まで  
会 場 真田地域自治センター3階 301会議室  
出席委員 内田雅久委員、一本鎗武志委員、上原和彦委員、大久保秀則委員  
桑田まなみ委員、小金敏展委員、小林友美委員、坂口恒子委員  
佐藤和雄委員、佐藤公至委員、清水潤委員、花岡静枝委員  
堀内美子委員、三井勇二委員、宮下蘭子委員、村本貴代春委員  
山崎隆喜委員、山崎寿雄委員  
欠席委員 飯島功委員、武捨純子委員  
市側出席者 小市センター長、センター全課長  
清水都市建設課長、小相沢調査計画担当係長、児玉主任  
渡辺センター次長兼地域振興課長、塚田地域政策係長、宮島主査

- 1 開会(佐藤副会長)
- 2 会長あいさつ(清水会長)
- 3 真田地域自治センター長あいさつ(小市センター長)

### 4 会議事項

#### (1) 上田市都市計画マスタープラン 地域別構想について (会長)

会議事項に入ります。

上田市都市計画マスタープラン地域別構想についてですが、前回まで皆さんからいただいたご意見を事務局にまとめていただいています。事務局からの説明のあと、議論に入ります。都市計画マスタープランづくりに対して意見が言えるのは、今回が最終回かと思しますので、最後のところで委員全員から意見をいただくことにします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

#### (清水都市計画課長)

地域別構想については、皆様からの多くの貴重なご意見をいただいたお蔭をもちまして、ある程度まとまってきております。今日の議論の中でまとめれば、庁内調整を行い1月あるいは2月に最終案として協議会に確認していただく予定です。

最後に時間がありましたら都市計画区域についての説明をさせていただきます。

#### (小相沢調査計画担当係長)

本日の協議していただく内容を説明いたします。3点ございまして、1点目はこれまでの委員から出していただいたご意見をまとめたものの確認とそれに対するご意見を頂戴したいと思います。2点目は、真田地域として何に重点を置くのかをご協議いただきます。これについては、地域の将来の姿として数行に文章化して地域別構想の冒頭に入れてまいります。3点目として、時間ございましたら都市計画区域の説明をさせていただきます。

地域別構想については、来年2月頃までに庁内で調整しまして、素案ができたところで改めて協議会のご意見をいただきたいと思います。構想の詳細について協議をいただくのは、今回が最後となりますので積極的なご意見をお願いします。庁内調整においては、今まで協議会から出していただいた意見の中で、記載が難しいもの、追加したほう

良いものなどを検討します。各委員には、現在の内容と若干変更があることについて予めご承知おき願います。

それでは、担当から説明させていただきます。

(児玉主任)

最初に「2 地域別構想に記載する方針について」から説明させていただきます。

皆様から以前に提出していただいた意見記入シートやこれまでの会議中のご意見を参考にさせていただき都市計画マスタープランの地域別構想に記載したらどうかという項目を並べさせていただきます。

記載してある方針については、今回ご意見を伺った後、文章表現を含めて再整理させていただきます。

都市計画資料1 【真田地域】地域別構想の主要項目のまとめ(案)から

2 地域別構想に記載する方針についての説明

1. 都市基盤の形成方針
  - (1) 土地利用の誘導方針
  - (2) 道路・交通の整備方針
2. 地域資源の保全・活用方針
  - (1) 自然環境の保全・活用方針
  - (2) 景観の形成方針
3. 生活環境の形成方針
  - (1) 防災に関する整備方針
  - (2) 住環境の保全・誘導方針
  - (3) 公共公益施設等の整備方針

(会長)

地域別構想に記載する方針についての説明がありました。前回まで議論したものを短い文章にまとめていただきました。さらに追加する項目などあればご発言ください。

最後に全員からご意見を伺いますので、そこで総括的にご意見をいただければと思いますので、次に進めさせていただきます。続いて説明をお願いします。

(児玉主任)

次に「1 将来像について」を説明いたします。

「将来像」は、地域の将来の姿を数行の文章にまとめて表現するものです。特に何を重点的に記載していくのかということで、地域別構想の冒頭に入れていく文章となります。参考として、市総合計画・地域まちづくり方針や旧真田町長期振興計画の中から、また委員からいただいた意見で多かったものお示しました。特に重要となるものを皆さんからご意見をいただき、事務局が文案を作成させていただきます。

都市計画資料1 【真田地域】地域別構想の主要項目のまとめ(案)から

1 将来像についての説明

(参考) 総合計画・地域まちづくり方針での「地域の特性と発展の方向」より

(参考) 旧真田町長期振興計画を参考とした将来像(例)

(参考) 委員からいただいた意見で多かったもの

(会長)

説明のあった項目を数行の文章にまとめて、真田地域の構想にまとめ上げるということです。いくつか挙がっている文章でこれが良いとか、こんな表現の方が良いといったご意見をいただきたいと思います。本来ですとこの言葉とこの言葉というように決めてまとめなければならないところですが、全体として文章の形をとることから、おひとりずつからご意見をいただいて、その発言を元に事務局にまとめていただくことにしたいと思います。

それでは、順番にお願いします

(委員)

生活環境の関係ですが、水環境について書かれていない。真田地域は水に恵まれているので水に関する記述を盛り込んでほしい。この地域には将来、上田市の水源地として責任を担っていける地域性があるのではないかと。ポンプアップするための電気料が月に3,000万円もかかっているという。上田市の水道水は1日約6万トンが必要となっている内、約3万トンは真田地域から供給されていると聞いている。もっと多くを真田地域から供給できれば、全市の水道料金にも影響がでるのではないかと。

(会長)

水に関することを加えてほしいというご意見でした。

(委員)

旧真田町は福祉の先進地だった。これからもそうあってほしい。また、子育てしやすいまちという内容を入れてもいいのではないかと。食育でも全国に知られているので入れてほしい。

(会長)

福祉・子育て・食育については、特に全国的にも名を知られている所なので、記載してほしいとのことでした。

(委員)

真田地域は自校給食なので給食がおいしい。また、水がおいしいことも特徴だと思う。また、公共交通をもう少し充実してほしいと日頃から思っている。バスの本数が少なく不便を感じることもある。今まで各自治会の公民館などで行っていた健康診断が保健センターに集約された。足の確保について考えてほしい。

(会長)

自校給食の問題・公共交通の問題について、もっと強調してほしいとの意見でした。

(委員)

学校の関係で出席している立場で、少子化問題が叫ばれる中、子育てのしやすい都市とか、子どもたちが安心して暮らせる都市を目指す内容を入れてほしい。

(会長)

子育てのしやすい環境を強調してほしいとのことでした。

(委員)

他の委員さんのご意見とおり、水環境・福祉・教育・健康を全て含めてほしい。特に真田地域には菅平高原があり自然環境に恵まれている。また真田氏発祥の地であることをアピールしてほしい。

(会長)

豊かな自然と真田氏発祥の地を強調してほしいとのことでした。

(委員)

菅平地区は自然公園法の特別地域として厳しい規制がある。菅平地区にそれより緩い都市計画という規制を入れることはいかがなものかと思っている。

ここに書かれている方針はすばらしい内容であるが、都市計画という規制がなくても、この地域として守ったり、続けていくべきことが多々あると思う。

(会長)

菅平は規制が多い。それを踏まえ、ここに書かれたことをしっかり進めてほしいとのことです。

(委員)

記載されていることや皆さんの意見に全て賛成です。只今も発言がありましたが、菅平については、特に厳しい規制があることを考えていただきたい。

(会長)

記載されている内容に賛成。菅平には厳しい規制があることを理解してほしいとのことです。

(委員)

合併して2年が経とうとしている。真田地域として、新上田市の一体性を考えた時に一番大事なのは、真田地域と上田市街地を結ぶ上野バイパスのこと。商工業の中心は旧上田市地域と丸子地域であることから、真田地域は自然環境を生かしたベッタウン化を視野に入れた計画的なまちづくりを目指してほしい。

(会長)

旧真田町と旧上田市の一体化の意味で、真田地域は上田市街のベッタウン化を目指すべきということを協調してほしいとのことのご意見でした。

(委員)

真田地域は零細企業が多い。上田菅平インターを生かした優良企業の誘致のことを私は前から言っている。何か書けないか。

NHKの大河ドラマ「風林火山」の影響から多くの方が地域の史跡等に訪れているので、その駐車場整備の検討をお願いしたい。

(会長)

零細企業の強化、史跡等の駐車場の確保とのことでした。

(委員)

都市計画は土地利用とか都市形成という内容となるため、このような文章になると思う。

都市計画として整備することも大事だが、それ以前に若い世代に住んでもらえる地域づくりをメインとした計画が大切ではないか。いくら良い施設を作っても、そこに住む人がいなくてはどうしようもない。

(会長)

若者が集まり、住める工夫をした都市をつくってほしいとのことです。

(委員)

旧真田町では、「健康づくり」が行政の重要プランのひとつであったが、今は健康づくりに対する施策が後退しているのではないか。高齢化社会の中で、健康でなければ豊かな自然やすばらしいまちを享受できない。もう一度「健康づくり」を真田地域のスローガンとか目標にしたらどうか。

(会長)

旧真田町で掲げていた「健康づくり」についての表現が弱いので、もう少し強調できないかとのことです。

(委員)

資料の計画内容はすばらしいと思う。

農業についてだが、菅平を除いた真田地域では、5年前に私が就業するまで新規就業者は12年間いなかった。またそれ以降もない。このような状態も含めて、農地をど

のように保全していくのかという問題は今までも検討されてきている。今後は、今までと違う新しい農地の生かし方をいろいろな立場から考え、それを一体的な施策としていく必要があるのではないか。

(会長)

農業のさまざまな問題を一体的な施策で進めてほしいとのことです。

(委員)

私は農業とは別の業種ですが、農業の先行きについて考えさせられる番組をたまたま見たところ、前回の協議会で他の委員さんから農地を抱えながらも農地が荒れ果てていくのが忍びないという具体的なお話を聞いて感銘した。日々の暮らしではグローバルに考えることができず、道路などの生活に直結した問題に目がいてしまいがちだが、日本で農業の減退がいかに危機であって、本当に差し迫った問題であると感じている。

菅平では専業農家が多く、それぞれ企業化され、子どもさんも農業を継いでいる。農業委員会では農地を増やしたいという動きもあるというし、実際に農地が足りずに菅平以外にも農地を借りて耕作している方もいる。

農地を農地として保全していきたいという気持ちをもっている。そのために外部からの就労者が定住することを募ったりとか、Uターンなどの活動を生かすといった様々な考え方を連携したシステムができないのかと思う。現に東御市ではワインづくりを企業化して、創めているという話を聞いた。どこかに若くてそのようなこと考えている人がいるはずだ。

今回の計画は1年・2年先の将来を考えるものでないので、将来像についてはもっとスパンの長い計画として捉え、水源のことなどを掲載していったら良い。

(会長)

別の業種の立場からも農業の衰退は気になる。何とかならないかという意見をいただきました。

(委員)

文章を考えました。

「雄大な自然に恵まれ、真田氏発祥の郷として歴史と文化が息づく魅力と 菅平高原に代表される若者から高齢者まで幅広い世代を惹きつけるスポーツリゾートとして活力ある交流のまち」

「生活環境の整備、歩行者や自転車が安全に通行できる道路整備、バス等公共交通の利便性向上など道路交通環境の充実を図り、市街地近郊の魅力ある居住空間の形成を目指す」 以上です。

(会長)

ありがとうございます。一つ目として自然と歴史の立場で、二つ目は生活環境の問題で文章化していただきました。事務局には、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

(委員)

旧真田町長期振興計画の「雄大な自然に恵まれ、真田氏発祥の郷として歴史と文化が息づく魅力と、活気にあふれた交流のまち」のフレーズが良いと思っていた。「活気にあふれた交流のまち」という部分が子育てや福祉につながる箇所として、もっと膨らますことはできないか。

(会長)

「活気にあふれた交流のまち」の部分をもう少し具体的に書けないかというご意見かと思えます。

(委員)

上田市として真田地域の水は大変重要だと思っている。その水は山から出るものなので、元となる森林整備が大事ではないか。

また、バスの利便性向上については、路線バスにお客が誰も乗っていない現実がある。多くの中学生が親に送り迎えをしてもらっている中で利便性を考えると、バスの運行時間なども検討されるべきではないか。

(会長)

水の問題が大切として、その元となる森林整備が必要ではないか。また、交通問題について利便性についてもっと研究されるべきとの意見でした。

皆さんに意見を伺いました。まだ、意見を言い足りない方がいればご発言ください。

(清水都市計画課長)

貴重なキーワードを皆さんからいただきました。本日いただいたご意見のなかには、項目に追加できるものもあったかと思しますので再精査させていただきます。

大変申し訳ないのですが、確かに子育て・福祉などは重要な項目なのですが、今回は都市計画プランになりますので、新市として別に進められている福祉計画や教育の計画への掲載になるかと思えます。他の計画をしている部署には、真田地域からこんな意見が出されたことを伝えたいと思えます。できるだけ、皆さんの意見を反映できるよう調整をまいります。

(会長)

福祉等の意見については、別の計画に取り上げていただけるとのことです。

(委員)

新上田市全体の問題、また真田地域に限った問題などいろいろな意見が出されたが、協議会としては、どの辺に目的を向ければいいのか。

(会長)

上田市全体の都市計画マスタープランを策定するというのですが、我々が議論しているのは真田地域の特色あるところを地域別構想として出せば良いわけです。全体に関わる意見については会議の中で事務局に聞いていただいているので、全体構想に反映させていただけるということで良いと思えます。

(清水都市計画課長)

全体に関わる問題は、全体構想のなかで検討させていただきます。

例えば、先ほど企業誘致の意見がありましたが、これは地域だけの問題というよりも上田市全体で考えていく問題として検討してまいります。農業の問題もについても同じようなことが言えます。

(会長)

今回いただいた意見を最も的確な表現でまとめていただけるとのことです。

続いて都市計画の課題について説明をお願いします。

(児玉主任)

これからの説明は、真田地域をどうするのかというものではございません。一般的に都市計画とはどのようなものなのかといった説明です。その中で、真田地域の現況として建物の新築、農地の転用などの状況、また現在の上田市の土地利用状況などを説明させていただきます。

都市計画区域について

都市計画とは

都市計画区域とは

都市計画区域内で決めること

用途地域とは  
都市施設とは  
地区計画とは  
真田地域の現況について  
建物新築状況  
農地転用状況  
主な景観資源図（自然環境、歴史・文化）  
土地利用現況図（真田地域）  
航空写真  
その他  
現在の都市計画区域  
上田商圏の推移  
土地利用現況図（上田市全体）

（会長）

都市計画について、次回以降に議論するための説明がありました。  
ご質問ありますか。

次回以降も議論する機会がありますので、この件はこれで終わりとします。  
都市計画課の方はここで退席されます。

～都市計画課退席～

(2) 平成20年度 予算編成における地域予算について

（会長）

引き続き会議事項を進めます。

前回、地域予算の概略について説明がありましたが、さらに細かな部分が見えてきた  
とのことです。事務局から説明をお願いします。

（塚田地域政策係長）

～資料2の平成20年度予算編成における地域予算についての説明～

地域振興支援予算（上田市地域振興基金活用事業）

「（仮称）わがまち元気いっぱい事業」の創設

生活関連予算（土木単独事業、土地改良単独事業）

生活関連事業予算について各地域へ枠配分

直接要求予算（上田市地域振興事業基金 持寄分活用事業）

各地域の振興事業や地域内分権の推進に関する事業に充当する 等

（会長）

只今の説明に質問等ありましたらお願いします。

（委員）

持寄基金は2.2億円と聞いているが、図書館建設の基金とは別なのか。

（塚田地域政策係長）

図書館建設基金とは別に真田地域として約2.2億円あります。

(委員)

新しく造成した新市造成分基金 36 億円という説明があったが、これはどんなお金なのか。

(塚田地域政策係長)

新規に造成した基金は、合併特例債が当てられています。「(仮称)わがまち元気いっぱい事業」は、その運用益 4,000 万円～4,500 万円で事業化してまいります。

(委員)

表の見方が分からないのですが、元気なまちづくり事業は計画策定 1 年間、実践活動 2 年間の計 3 年間ということの良いのか。

現状でやっている活動ではなく、新規事業でなければいけないということなのか。

(塚田地域政策係長)

3 年間という考え方です。元気なまちづくり事業では、計画策定についての 1 年間も補助対象とされています。

今やっている活動でも、新たに発展的な計画を策定するなどの場合は対象になるかと思いますが、そのような詳細な運用部分については、現在検討しているところです。

(委員)

わがまち元気いっぱい事業補助金について、基金 36 億円の運用益 4,000 万円～4,500 万円は、どのように地域配分されるのか。

(塚田地域政策係長)

均等割、人口割等が検討されていますが、自治会割という考え方も盛り込んだらどうかという意見も出されています。具体的な枠配分の方法は決定されていません。

(委員)

わがまち元気いっぱい事業は、今まで活動している団体は該当しないのか。

(塚田地域政策係長)

既存団体への補助につきまして、従前と全く同じような活動をする場合は該当しないのではないかと考えられます。

交付決定までの流れについては、事業計画書が提出されますと、地域協議会で審査してご意見をいただき、最終的に市で決定されることになっています。

(会長)

具体的に計画が出された時は、地域協議会で協議をして、付帯意見をつけるということになるかと思えます。

(塚田地域政策係長)

基金の活用につきましては、わがまち元気いっぱい事業など、基金の活用基準に該当する事業があった場合には、基金を取り崩せるといった基本的な考え方をご了承いただきますようお願いいたします。また、実際に基金を取り崩す場合、協議会にご意見を伺うこととなりますのでよろしくお願いいたします。

(3) その他

(会長)

その他として各委員から何かありますか。

(委員)

市議会広報を読んだところ、真田地域出身の議員さんが上野バイパス 2 期工事についての質問をしていた。都市建設部長の回答は「上野交差点から伊勢山交差点までの約 1 キロを 4 車線道路として計画。7 月に伊勢山自治会と関係地権者に説明し、測定の承諾をいただいた。」とされている。

2 期工事の約 1 キロ区間の測量が始まっている現状を踏まえて、いつ頃 4 車線化が着



工になるか教えていただきたい。

(柳沢建設課長)

現在の第1期工事 490mは、完成が来年となっています。上田建設事務所でも現在の計画どおり進めようとしているようです。ただ、あくまでも県の工事ですので、具体的な着工時期等はわかりません。

都市建設部長から回答があったとおり、本年度は用地測量について予算付けがあったようです。しかしながら、県も厳しい財政事情から道路建設事業の予算付けについては不透明な状況となっています。1期工事終了後、引き続き2期工事に入りたいとの意向もあるようですので、市も期待をしています。市では期成同盟会などを通じて国会等に対して積極的な陳情活動を行っているところです。

## 5 その他

(会長)

その他ということで事務局ありますか。

(事務局)

12月の協議会の日程についてですが、12月市議会の日程を確認する中で、12月10日から20日の間、正副会長と協議して決定させていただきます。年末の忙しい時期ですが出席をお願いします。

## 6 閉会

(副会長)

大変お疲れ様でした。以上で第7回の協議会を終了いたします。